

INDEX

1. 滅災の心を地域に根付かせたいー岩手大学地域防災研究センター 越野修三氏
2. 世界から優れた技術力を日本へ 帝国繊維株式会社
3. 防災メシ・レシロ「ポタージュ・リソット」
4. 東北を忘れない…
5. 防災現場で働く女性シリーズ



防災現場で働く女性シリーズ file.2 本田消防団(東京都葛飾区)



地元消防署と連携し、住民に近い立場で「わがまちを災害から守る」ために活動している消防団。団員の皆さんは仕事や学業・家事に従事しながら、地域防災の要として幅広い活動をしています。今回ご紹介するのは、東京都23区内で2番目に規模の大きい、葛飾区の本田消防団に所属するベテラン女性消防団員の皆さん。

女性ならではのあなたかな眼差しとコミュニケーション力が、安全な街づくりの活動に活かされています。

第2回目は、地元消防署の仕事をサポートする「消防団」のベテラン女性団員の皆さんをご紹介します!

1 消防団に入ったきっかけは?
島村さん(以下、島村) 私が入団したのはもう22年前のことになります。きっかけは、法務省が推奨していた社会を明るくする運動の話をきいて、自分もなにかできないかなと思ってた時に甥から勧誘されました。当時は専業主婦でした。

佐藤さん(以下、佐藤) 私はPTA役員をしていた頃の知人が団員で、女性も活躍しているのと同じ興味をもちました。

平野さん(以下、平野) 私もきっかけはPTAです。いざという時の救命活動を知りたいというように送られてこられて、そのまま笑。

島村 入団のきっかけがPTAや町内会のご縁というのは結構多いですね。

平野 でもやっぱり女性団員は少ないのもっと増えたいです。こちらは本消防団内でも大所帯な分団ですが、女性は4人しかいません。

佐藤 比較的多い私の分団でも8人ですね。私をはじめベテランが多いので、もっと若い女性が増えたい。

2 消防団員としてどんな活動をしていますか?
また、やりがいを感じる時は?

佐藤 火災現場で消防署員をサポートして、無事鎮火した時はほっとしますね。初期消火や使用済みホースの片づけ、消火活動がしやすいように野次馬の立ち入りを制限する現場管理なども重要な役割です。

島村 平時では、救命講習や応急手当指導員、防災訓練時の指導といった活動ですね。町内会や学校、企業のほか、地域イベントでも指導を行っています。

平野 3・11以降、防災訓練に参加してくれる方が増えましたから、熱心な方がいたら見学にきませんか誘ってみました。仲間づくりも仕事のひとつですね。

島村 葛飾区は木造の古い住宅街が点在していますので、地域の防災意識はかなり高いんですよ。

佐藤 訓練指導で制服・制帽を身に着けていると「そんな活動してたんですね」と声をかけてもらうことも多いです。

島村 そしたらさすがに、消防団って特別職の地方公務員でちゃんと報酬をもらえるのよ、制服もかっこいいでしょって勧誘しています(笑)

3 安全な街づくりのため、今後どんな活動をしたいですか?

島村 消防団員になれば、自分の街やたいせいな人々を自分で守ることができるといふことを知っていただきたいですね。各分団の人数が40人程度いけば活動が安定しますから、組織拡大も大事です。

平野 団員として学んだ知識や技術を、後輩に伝えること。より一層高めていくため、平常時から訓練を怠らないことでしょうか。

佐藤 地域の人の絆をさらに深めて、消防団の役割をひろく認知していただけるよう頑張りたいと思います。



おぼえとこっ! Vol.02 2014年3月発行
編集・発行 / TSP太陽株式会社
〒153-0043 東京都目黒区東山1-17-16
TEL: 03-3719-3357 http://www.tsp-taiyo.co.jp/
協力 / 岩手大学地域防災研究センター
帝国繊維株式会社
東京消防庁本田消防署
東京都葛飾区本田消防団
制作 / 「おぼえとこっ!」編集委員会



編集後記

皆様の多くのご意見を頂戴し、反響の大きさに驚きました。そこで、皆様のご意見・ご要望に応えるべく、twitterを開設しました。ぜひ覗いてみてください。PS:次号より個性あふれる事務局員の紹介をします、乞うご期待。

編集長 / 池田道雄

阪神・淡路大震災の苦い経験を糧に準備してあった災害対策

2011年3月11日。東日本を襲ったM9の大地震は、岩手・宮城・福島を中心に15000人以上の死者を出す未曾有の大災害となった。

この時、岩手県防災危機管理監として災害対策の陣頭指揮に立ったのが、現在、岩手大学教授となっている越野修三氏だ。

越野氏はかつて陸上自衛官時代に、阪神・淡路大震災の救援活動に従事し、被災地の広範囲かつ甚大な大規模多重災害の対応が、いかに難しいかを熟知していた。

退官後、岩手県の危機管理監を依頼された際には、おそらく着任中に必ず大規模な災害がおきる(宮城県沖地震発生の確率99%と予想されていた)、という覚悟を決めての赴任だったという。

震災発生時、越野氏は国民保護セミナー出席のため八戸におり、県庁に戻ることでできたのは発災5時間後。その時すでに災害対策本部が設置されていただけでなく、なんと発災6分後には、自衛隊に災害派遣要請が行われていたという。

「指揮者が不在でも、県の動きは迅速でした。それを可能にしたのは、あ

岩手大学地域防災研究センター
越野修三 教授
Syuzo Koshin

はじめ知事と交わっていた取り決めです。震度5強の地震が起きたら自動的に災害本部を立ち上げる。震度6以上ならば状況確認を待たずに災害派遣要請をする。

阪神・淡路大震災の時、私は救援部隊を率いて被災地近くまでいきながら、なかなか出ない派遣要請をじりじりと待つていました。あの苦い経験を繰り返したくなかったから、災害が起きる前から、そういう準備をしてあったのです」

「岩手の太平洋沿岸部は、これまで何度も地震や津波の被害を受けてきました。1960年のチリ地震津波の経験

そう語る越野教授の背後、現在活動拠点としている岩手県地域防災研究センターの窓からは、岩手の民を見守るようにやさしい姿の岩手山が見える。

公助だけでは守れない命を救った自助・共助のメインドと行動

取材協力 / 岩手大学

消防ホースメーカーから、防災資機材を扱う総合商社へ。

特集 災害救助の最前線を見つめて 世界から優れた技術力を日本へ。

社名が示す通り、帝国繊維は繊維、中でも麻の紡織からスタートした。その麻を使った消防ホースの製造メーカーでありながら、今日の防災・災害救助機器商社としての事業の広がりがある。

日本は世界の中でも自然災害の多い国と言えるだろう。記憶の新しいところでは阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災での大規模地震、さらには台風や豪雨災害。人智を超えた災害の中で、帝国繊維が扱った災害救助機器は人命救助の最前線で活躍している。

たとえば瓦礫の中に埋もれた命を救うために LUKAS 社(独)製の電動油圧救助機器「ECO LUKAS eドローリック」がある。従来はエンジンに油圧ホースを接続して作動させる機器が主流であったが、パワーは



ECO LUKAS eドローリック

海水利用型消防水利システムは、1.8km先まで毎分約4000リットルの送水が可能であり、消火用送水以外に

そのままにバッテリー駆動の製品が発売されたことで、操作性と機動力はいちだんとアップした。また、電源接続ケーブルを用いることで、長時間の使用も可能となり、現在全国の消防本部に導入を進めている。



▲海水利用型消防水利システムの送水車とホース延長車

豪雨による水害時の排水用としての用途展開も可能である。

また直接的な救助製品以外にも、東日本大震災の教訓から導入されたものは多い。たとえば大型のテントは、普段は自治体の中で活動していた消防隊が、宿泊を伴う救助支援に向く際の拠点として、また宿泊や休憩場所として導入された製品のひとつだ。そして全国の各自治体や消防本部に設置が進んだのが、早期地震警報装置だ。数多くのプレート上にある日本は「地震大国」などと言われるか昔から大きな地震を体験してきた。しかし阪神淡路大震災以降の大規模地震を経験するまでは、対策



(※1)発行:ぎょうせい / 2,200円(税込)

者も多く、津波に対する意識は高い県民だといえるでしょう。にもかかわらず、今回の震災では6000人も死者・行方不明者を出した。その理由を冷静に検証することができたのは、震災から100日以上経過してからでした」と、取り出したのは、越野氏が当時つけていたノートだ。発災後の混乱の中でも、この経験と記憶を残さなければと乱れた文字でつづり続けたノートは、後に1冊の本にまとめられた(※1)。



東日本大震災発生の当日から危機管理監として状況を刻々と書き記していったノート。ノートの数は5ヵ月間で4冊にも及んだ。

「昨今ほどの自治体でも、起こりやすい災害を想定したハザードマップを公開しています。今回も海沿いの街は、当然津波を想定し、巨大な防潮堤や避難所も整備していました。しかし津波は、我々の想定をはるかに超えた。ある地域では、津波の被害者のほとんどが、避難所やハザードマップの浸水想定地域外で亡くなりました。これは、官主導の防災コミュニケーションが、かえって住民の油断を招いてしまった可能性を示しています」

その一方では、釜石の奇跡と呼ばれた釜石東中学校のように、「津波でんてんこ」(※2)の教えに従って子供たちが自主的に高台へと駆け出し、地域の人々の避難行動の模範となった例もある。

公助に依存しすぎず、まず自らを助け、地域と協力して生き抜く。公助・共助・自助の連携こそが重要だと考えた越野氏は、2013年春、危機管理監を退職。岩手大学へと招聘された。

減災の知恵をより地元へ広め、人材を育成するために。

「二度の震災救援に関わって痛感したのは、訓練でやっていないことは、本番では絶対にできないということ。だから空振りも恐れずに最大限の危機を知らせ、何事もなければ訓練だったと思っ、笑って解散すればいい。しかしそれは、県の防災トップという立場では難しかった」という越野氏は、着任早々、学生たちを対象に防災リーダーの育成を開始。その後も市町村に呼びかけて、立場・職域を超えた地域防災ワークショップを立ち上げるなど、精力的な活動を展開している。

世界最大の地震国である日本において、災害はいずれ必ず起きるもの。その時、いかに自らの命を守り、被害を軽減するかという減災の知恵を、ひろく発信し、まずこの岩手に「防災・減災文化」を根付かせたい。それが越野氏のこれからの目標だ。経験がふまえたリーダーシップに大いに期待したい。



上段/防災リーダーの育成のために開かれている実践的危機管理講座(中級編)の様子。中段/吉里地区自主防災計画検討会での図上訓練の様子。下段/科学技術振興機構(STI)主催の講演後、NERSS(中国地震応急捜索センター)からの参加者らと意見交換を行う越野教授 写真出典/岩手大学地域防災研究センター ホームページより

(※2) 「津波でんてんこ」 てんてんこは「てんでんばらばら」という意味。津波が来たら、各々がてんでんばらばらに高台に逃げろ!という標語。1990年(平成2年)11月、岩手県下閉伊郡田老町(現・宮古市)で開催された第1回「全国沿岸市町村津波サミット」にて、津波災害史研究者である故山下文男氏らによるパネルディスカッションから生まれた。家族間での強い信頼関係が無ければ、てんでんばらばらに避難行動することは難しいが、この教えによって、東日本大震災の津波から被害を免れた事例もある。



Syuzo Koshino

越野 修三

岩手大学地域防災研究センター教授。陸上自衛隊時代、阪神大震災の救援活動を指揮。2006年に自衛隊を退職後、岩手県庁入りし防災危機管理監を務めていた2011年3月11日、東日本大震災津波に遭遇。当時の経験をまとめた著書「東日本大震災津波 岩手県防災危機管理監の150日」(ぎょうせい)がある。

も充分とは言えなかっただろう。特に東日本大震災では地震そのものの被害より、大津波により広い範囲で大きな被害を受けることとなった。そこでいち早く地震発生の予兆をつかみ、避難指示を確実に的確にするため、さらには救助中の余震による二次災害の危険を回避するために、今や「防災」の意識は国や自治体、消防だけでなく、個人に至るまで大きく変化したのだ。

最新機材の提案で自治体、消防、企業をサポート

それ以外にもアメリカで発生した9・11同時多発テロ、そして国内では地下鉄サリン事件を大きなきっかけとしてテロに対する備えも課題となった。さらには新型インフルエンザの発生やパンデミックの可能性など、次々と新たな脅威が日本をとりまく国々でも発生している。帝国繊維は、人命を脅かすあらゆる脅威から人々を守り、また災害時には迅速かつ安全な救助活動が行えるよう、これからも世界各国から優れた技術力の製品を日本に広く紹介、提案していく。

Company Profile
帝国繊維株式会社
明治40年7月創立
昭和25年7月設立
東証一部上場
業務内容
防災事業(防災救助用品の製造・輸入販売)、繊維事業(リネン製品・特殊繊維製品の製造販売)、不動産賃貸事業ほか

ECO LUKAS eDRAULIC
□世界に先駆けたプロ用電動油圧救急器具
□2電源方式【Li-ion充電電池 / AC100V】
□ホース接続不要、スイッチオン! で直ちに救助開始
□省スペース、軽重量で操作性アップ!
□従来エンジン式よりECO
eドローリックスーパーカッター S700E
eドローリックスプレッダー SP300E
従来より狭い隙間に差し込み、滑りにくい新型チップを採用
お問い合わせ先 帝国繊維株式会社 本社/東京都中央区日本橋二丁目1番10号柳屋ビル TEL:03-3281-3033 http://www.teisen.co.jp



非常食をアレンジ!
防災メシ・レシピ



非常食といっても、賞味期限、消費期限はあるもの…。
1年に一度は必ずチェックして、入れ替えておくことが大切です。
そんな時、消費・賞味期限間近の食材があったら
こんなレシピでおいしく食べてみてはいかが?

お手軽イタリアン! ポタージュ・リゾット

材料 (大人 1人前)

	Material
保存用パック入りごはん 又は アルファ米	150 g
水	150CC
カップスープの素 (ポタージュ)	1.5袋
粉チーズ	お好み
ベーコン	10cm程度×2切れ
塩	少々
粗挽き黒胡椒	少々



Potage Risotto

作り方

How to cooking



1 ミルクパンなどの小鍋で、短冊切りのベーコンを軽く炒めます。



2 150ccの水を加えて、ひと煮立ちさせます。



3 沸騰したらポタージュのカップスープの素を溶かして中火で少し煮込みます。



4 そこに、パック入りごはん150gを入れて弱火で煮込みます。



5 焦げないように、かき混ぜながら水分を減らしていきます。



6 とろみが出たら、粉チーズをお好みでふりかけさらに弱火で焦がさないように煮込み混ぜていきます。



7 水分がなくなり、固まるようになったら、塩を入れて味を調整。



8 おじやのような硬さになってきたら、お皿に盛りつけ。粗挽き黒胡椒をふりかけて、完成。

※お米の水分吸収に合わせて、水の量を調整してください。チーズが好きな方は、粉チーズを多めにすると、コクのある仕上がりになります。



今回増強された大型ヘリコプター「こうのとり」

おぼえとこっ!

01



大型消防ヘリコプター「こうのとり」の増強でさらなる機動力と安心確保へ

—東京消防庁—

東京消防庁航空隊には、大型ヘリコプター3機、中型ヘリコプター4機があるをご存知ですか?平成26年3月から、大型ヘリコプター「こうのとり」1機が増強され、8機体制で都民の安全安心確保に活躍することになりました。
2月4日(火)、立川にある東京消防庁航空隊第一格納庫で、消防関係者ならびに報道関係者を招いて、おこなわれた就航式取材してきました。
東日本大震災以降、震災時にける消防ヘリコプターの救助活動や機能の有効性が確認され、航空消防体制の充実強化を目的に今回の増強はされました。
これにより災害時においては特別地域への迅速かつ早期救助着手が期待されます。
これまでは、救助活動が救急搬送かのみが役割しかできなかった大型機ですが、今回の「こう

ココがポイント!

就航式をサポートしたスタッフの
消防ヘリコプターの役割として救助・救急・空中消火・情報収集があります。それらすべての機能を兼ね備えた大型ヘリコプターがこの度就航した「こうのとり」です。空の救助車兼救急車兼消防車といったところでしょうか?壁掛け式のEMSセットを設置した事により救急効率のUPが更に期待されるようです!

東京消防庁航空隊の情報は「Twitter」
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kokkutu/>

また、フオバーリングが安定性を増したことで、空からの微妙な操作での救助活動がおこなえるようになった点が、特長です。
就航式も無事に終了し、3月から現場での運用がされるとのことです。
空からの消防活動にも、ぜひ関心を持って、覚えてください。



▲こうのとり用に新たに設置された専用EMSセット

*EMS: (Emergency Medical Service) 救急医療サービス

の「とり」では専用のEMSセットを設置して、救助と搬送の両方を同時にできるようにしたそうです。

おぼえとこっ! スタッフの 防災日記

vol.01

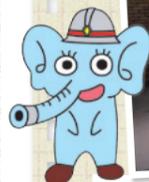
消防博物館に 行ってききました!

東京や東京近郊にお住まいの方、東京消防庁の消防博物館に行きたいと思いませんか?
地下鉄東京メトロ丸の内線「四谷三丁目」駅に直結している消防博物館、なんと初見学です。
受付で館内案内と見学証もらって、いざ出発。(ちなみに見学は「無料」です)
お目当ては地下1Fの消防車両展示室へ。日本に輸入された外国の消防車・梯子車や国産の梯子車、ポンプ車などがラインナップ。写真で見ると以上に大型で、意外とカッコいい!!(あくまで主観です)東京で初めて消防ポンプ車が導入されたのは、なんと大正6年なんですって。ココはデザインもあがるので、とっても大人だっけって思いました。
そして5F、江戸時代の火消しの歴史を見たり、3Fの体験学習できる設備でビデオやクイズなどで防災知識を身につけてきました。
1時間半くらいの見学でしたがなかなか面白いですね。



詳しくは、消防博物館のホームページで。
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/ts/museum.html>

大人と子どもでも楽しみ方を見方は違うでしょうが、消防について興味や関心を持つきっかけになります。
うちの子どもの消防車や工作車のミニカーでよく遊んでいました。そんな時期に来ていたら、きっと質問攻めだったかも。でも、そんなことがきっかけで、知ったり、覚えたりのことができたなら、忘れないでしょうね!
ぜひ、一度、見学においでかけてみてはいかがでしょうか?



4コマ劇場 シェイクアウトって知ってる?



安全確保行動もおぼえよう!

シェイクアウトは、アメリカの地震研究チームが研究成果を周知させる防災訓練のために考えた言葉です。シェイクアウト自体は、4つのステップで防災を意識する取り組みで、訓練の方法ではありませんが、万が一、地震が起きてしまったら3つのステップの安全確保行動で最初の揺れに備えることが大切です。

ドロップ! カバー! ホールドオン!

まず低く 頭を守り 動かない

この行動を速やかに取るように、訓練もしっかりやって、ふりかえり、行動できたかを確認しましょうね。

よい! スルおぼえとこっ!

INFORMATION SQUARE ツイッターを上手に活用し、日頃から防災の準備を。

Twitterを活用した情報収集

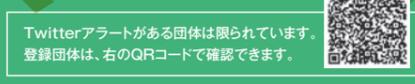
- 1 ライフラインアカウントをフォロー**
 - 政府
 - 例:首相官邸(災害情報)@Kantei_Saigai
 - 総務省消防庁@FDMA_JAPAN
 - 自治体
 - 例:東京都防災@tokyo_bousai
 - 気象アカウント
 - 例:日本気象協会@tenki.jp
- 2 ハッシュタグ(#)を使って情報を検索**
 - #台風○○号、#(自治体名、地名)、#竜巻、#地震、#大雨など



Twitterアラートを登録する

登録したアラートアカウントから、重要な情報がスマートフォンに、プッシュ通知されます。登録は、パソコンからの登録方法とスマートフォン(Twitter公式アプリ)からの登録が可能です。

- PCからの登録
 - アカウントのページにあるアラートのマークをクリック。「アラートの受信」をオンにします。
- スマートフォン(Twitter公式アプリ)からの登録
 - 1 アカウント検索
 - 2 プロフィールページの2枚目のリンクをクリック。
 - 3 Twitterアラートを有効にする



東日本大震災が発生した日、関東でも電話が通じないという事態が発生しました。そのような中、「Twitter」で連絡がついたという経験をした方も多かったと聞きます。

東日本大震災以降、様々なライフラインアカウントが登録され、自治体からも災害、防災情報

が数多く発信されています。「Twitter」のライフラインアカウントをフォローして情報を取得するのも一つの手段です。「Twitter」をされている方、「Twitter」を始めようという方は、一度チェックしてみたいかがで

その冊子に「備える」ために人と技術を結ぶ

この冊子では、1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」と2011年3月11日に発生した「東日本大震災」における対応実績やその際に得た教訓をまとめました。

私たちは、その時に「備える」ために、人・くらし・国土の3つを守るために、「人」と「技術」を結びつけます。

■3つを守るを実践します。人を守る意識づくり

●「人」のために ●「人」の意識

「自助」の大切さを「防災教育」拠点づくり」という観点で掘り下げ、それを実践する人材を育成する。

太陽グループが提案する防災・減災のための「3つの守る」

是非、太陽グループの冊子を手にとってみて下さい。

冊子希望の方は、太陽グループ各社のスタッフまでお声掛け下さい。(各社ホームページからダウンロードも可能です。)

冊子に関するお問い合わせは、TSP太陽株式会社 経営企画室 ☎03-3719-3724

太陽グループ(太陽工業株式会社・TSP太陽株式会社・アケイオ株式会社)は、3年前に発生した東日本大震災を経験し、災害に強い社会や国土づくりのために何をすべきか、何が必要なのかを考えました。これまで培ってきた英知を結集し、グループの力を最大限に活かした「防災・減災」への取り組みをスタートさせました。

2013年9月には、太陽グループの「防災・減災」への取り組みをまとめた冊子を発行しました。

この冊子では、1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」と2011年3月11日に発生した「東日本大震災」における対応実績やその際に得た教訓をまとめました。

私たちは、その時に「備える」ために、人・くらし・国土の3つを守るために、「人」と「技術」を結びつけます。

■3つを守るを実践します。人を守る意識づくり

●「人」のために ●「人」の意識

「自助」の大切さを「防災教育」拠点づくり」という観点で掘り下げ、それを実践する人材を育成する。

くらしを守る関係づくり

●「くらし」のために ●「くらし」との関係

国・自治体、消防、警察、地域住民との良好な関係づくりを進め、減災のバックアップを目指す。

国土を守る製品づくり

●「国土」のために ●「国土」を守る製品

住まいや公共施設、街を守るために、開発力の強化と技術に培われた製品開発事業を展開する。

おぼえとこっ! のキャラクター「わすれんぞう」といいます。よろしくね。

防災広報紙「おぼえとこっ!」をナビゲートする「わすれんぞう」くん。創刊号では4コマ漫画に登場し、天然キャラぶりを発揮していましたが、「わすれんぞう」くんについてご紹介します。今後、Twitterでもつづきそうです。

プロフィール

性格は、普段はおっとりしているように見えるが、防災アンテナはピカイチ! 大きな耳で情報をキャッチしたら、チカラ一杯にがんばる子。

見たモノをしっかり捉えるクリクリとした大きく愛らしい目も特長!

防災情報やサイレンの音など音からの情報や知識を素早くキャッチ! 聞きもらさないための「大きな耳」

火災などの「火」には、素早く消火! ホースをもった長い鼻がチャームポイント!

もちろん! 避難用持ち出し袋や靴、ヘルメットなど、安全に避難するための準備もOK!

拡声器は危険を広く伝える道具。またみんなを誘導するツールでリーダーシップを発揮!

みなさん、フォローお願いしますね!

おぼえとこっ! の「Twitter」をスタート!

防災広報紙「おぼえとこっ!」のTwitterがスタートしました。防災に関する情報や、取材の様子、防災訓練や防災イベントなどを「つぶやき」ながら、今後、情報発信していきます。ぜひ、フォローお願いします。

また、防災広報紙についてのご意見、ご感想も受け付けています。みなさんからのメッセージ、お待ちしています!

Twitterアカウント @TspOboetoko

3.11 東北を忘れない... Vol. 2

—東北エリアのコミュニティFMからのレポート—

本当の意味での「復興」をめざして。

震災から3年。こういった節目ごとに、時の流れが早いと感じるか遅いと感じるか? という話題になります。私個人としてはとても早いと感じるのですが、それは恵まれた環境にいたからだと思えます。

仙台市のがれき処理は予定より早く2013年9月末で終了しました。しかし復興官営住宅への入居はまだ始まったばかり。多くの方は、仮設住宅での生活がまだ続きます。

震災後は多くの震災関連番組がスタートしました。その中に、「せんだい復興日記」という、復興支援に携わっている方にインタビューする番組があります。番組では最後に「あなたの復興へかける想いを教えてください」という質問があり、皆さん悩みながらも、その想いをお話していただきます。多くの方に共通しているのは「この支援を長く続けたい」ということ。募金活動をしたり、イベントを企画したり、グッズを作ったり... 支援の形は様々ですが、今後住環境が整ったとしても、心のケアだけは長く必要です。そしてこういった支援が必要なくなったときに本当の意味での「復興」と言えるのかもしれませんが。(コミュニティFM放送局: 仙台シティエフエム「ラジオ3」パーソナリティ 青木 朋子)

Profile

青木 朋子

宮城県仙台市出身。ラジオ3のパーソナリティ。マイタウンレディオ【月-金】15:00~17:00の火曜日を担当。復興応援特別番組「がんばろう! 仙台・宮城」【火-金】14:00~14:45も担当。その他、川柳575便にも出演中。

←コミュニティFMの放送を通じて、仙台の「今」を発信し続けています。

FM76.2MHz

ラジオ3は仙台の街のラジオ

ラジオ3復興応援企画「がんばろう仙台・宮城」

●放送時間: (火)~(金) 14:00~14:45

生活関連情報や支援情報、イベント情報などを中心とした特別番組を放送しています。番組を通して復興に向けて元気を発信していきます。

株式会社仙台シティエフエム

TEL ☎ 022-213-2323 FAX ☎ 022-213-1123

〒980-0801 仙台市青葉区中央1-1-1

消防・救助・救急・消防団の活動をサポートする「ファイアーレスキューイーエムエス」

FIRE RESCUE EMS

for FIRE FIGHTERS, RESCUE SQUAD, EMERGENCY MEDICAL SERVICES, FIRE CORPS.

TEL ☎ 0120-607-444 FAX ☎ 0120-238-119

受付時間: 9:30~17:30 休業日: 土・日・祝日

今すぐアクセス!! 1000点以上の品揃え!!

http://www.signalos.co.jp